



発行：地域力推進久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL (3752) 4271 FAX (3752) 4514

久が原地区管内
 <人口> <世帯数>
 男 14,084人 14,209世帯
 女 15,035人
 計 29,119人 令和8年6月1日現在

パルクール鬼ごっこ

「パルオニ JAPAN CUP 2025」優勝

いまはま そうき 今濱 壮紀さん



令和 7 年度
大田区青少年表彰式 〜はばたけ!! 未来へ〜

『パルクール』というスポーツをご存じでしょうか？自身の身体能力のみで、壁や地形を活かしながら滑らかかつ素早く通り抜ける、跳ぶ、降りる、回転して受け身をとる・・・そんなダイナミックな動作を連続して行うスポーツです。

このパルクールの要素に「鬼ごっこ」を掛け合わせ、20秒間の制限時間で競い合う『パルクール鬼ごっこ（通称：パルおに）』という競技があります。公園や遊び場の不足、子どもの基礎体力低下な

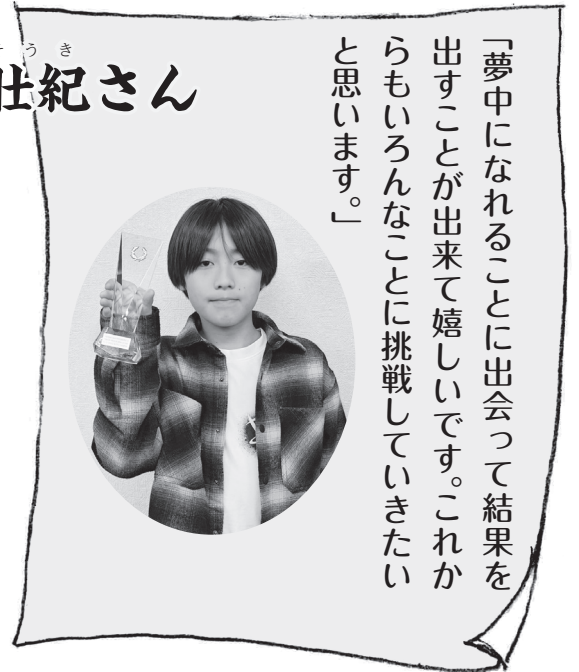
どが問題視される昨今ですが、楽しく健康になれる遊びでありスポーツとしても注目を集めつつあるようです。

昨年12月、横浜で開催された「パルオニ JAPAN CUP 2025」にて、今濱壮紀さん（大会当時・松仙小6年）が見事U-12部門で優勝という快挙を成し遂げられ、この功績により、令和7年度大田区青少年表彰（模範青少年部門）を受賞されました。

もともとはサッカースクールに通っており、より良い体の動きを身につけるために始めた競技でしたが、次第にサッカー以上にのめり込んでいったそうです。



オニバト下丸子教室提供



「夢中になれることに会って結果を出すことが出来て嬉しいです。これからはいろいろなことに挑戦していきたいと思います。」

この春、晴れて大森第十中学校の1年生となられた今濱さんに、これからの抱負を力強く語っていただきました。若竹のように強くしなやかに、そして楽しみながら成長して行ってほしいですね。

（岡田 久美子）



勤労感謝会で消防士さん来園

桜の開花には少し早い令和8年3月14日、第93回卒園証書授与式が行われ8958人目の卒園生を送り出しました。
 この園は、元園長であった佐々木ことみが創立した園で、昭和53年6月に急逝するまで、保育ひとすじに心血を注いで育てた園です。園児と遊ぶことを何よりの楽しみに、陽は昇り、日は沈むという人生でした。戦時中の一時閉鎖の後、終戦を迎えての開園は、遊具もない教材もないの無い尽くしてしたが、元気な子どもが伸び伸びと遊んでくれる広場をと、創意工夫の毎日だったようです。

その後、佐々木一哉園長の時代になりますと、保護者同伴無しで川遊びを楽しむ2泊3日のサマーキャンプや雪山でそり遊びを楽しむウインターキャンプ等、体験学習に重きを置いたスタイルになりました。この93回生もコロナ禍で誕生し、子どもも保護者も人との接し方が分からなかった時でした。それでも少しずつ友達と関わって遊ぶ楽しさを知り、相手を思いやる気持ちを育んでいく事ができました。これもひとえに子育てを人任せにせず、雨の日も風の日も送り迎えし、毎日お子さんの顔を思いながらお弁当を作り、お子さんにたっぷりの愛情を持って関わってこられた保護者の方々のおかげです。

開園当初も現在も子どもたちの健やかな成長とキラキラした目の輝きを大切に、地域の子育て支援施設としてあり続けられればと思います。

事務長 齋藤麗子



久が原幼稚園

—子どもたちの健やかな成長と
目の輝きを大切に—



入園式



シリーズ 久が原のものづくり 27

健 安倍鯉節株式会社



伝統の味と技を未来へ

1963年（昭和38年）、大田区萩中の地に創業した安倍鯉節株式会社は、業務用鯉節・削り節の専門問屋として60年以上にわたり地域とともに歩んできました。1966年に現在の久が原へ移転した当時、この地域はまだ畑が広がるのどかな風景が残る場所でした。その後、街の発展とともに当社も成長を続け、1986年には会社組織へ移行。2017年には二代目・安倍伸が代表取締役役に就任し、伝統を守りながら新たな挑戦を続けています。

当社の強みは、加工と卸売の両方を手掛けている点にあります。飲食店から寄せられる現場の声を直接製品に反映できるため、求められる味を細やかに実現することが可能です。鯉節と一口に言っても、力強いダシが出るソウダガツオや、甘みを引き出すサバ節など種類はさまざま。それらを絶妙な配合で組み合わせることで、店ごとの個性ある味づくりを支えています。

プロ向けの専門問屋でありながら、地元で料理を楽しむ方への販売にも柔軟に対応している点も魅力のひとつ。日本の食文化に欠かせない“だし”の魅力を、地域から発信し続ける存在です。63年目を迎えた今も、伝統の味と技を未来へつなぐべく、さらなる研鑽を重ねています。



所在地 大田区久が原 4-13-15
代表取締役社長 安倍 伸

イベント情報

◆ヒルズ久が原打ち水・納涼のタベ

【開催日】8月2日(日) 16時～
【場所】ヒルズ久が原 中庭

◆久が原会館の夏休み企画

【開催日】8月12日(水)～14日(金)
9時～17時
クールスポット開設
各種イベントあり

◆久が原東部八幡神社例大祭

【開催日】9月5日(土) 15時～
祭典・奉納演芸
9月6日(日) 12時～
御神輿渡御

◆道々橋八幡神社例大祭

【開催日】9月12日(土)・13日(日)

◆久が原西部八幡神社例大祭

【開催日】9月13日(日) 11時～

《問い合わせ先》久が原特別出張所
03-3752-4271

【編集後記】

災害は何時もおこるかわかりません。備えあれば少しでも役立つかも。ご家庭で、キャンプ気分でもポリ袋調理をしてみてください。よし悪しを経験してみましょう▶夏まっ盛り!! のどが渇く前に水分補給をしてください。冷房を付け涼しく、図書館やスーパーで涼むのも良いかもしれません。

大竹 恵美子



我が家も6年前に植えて、毎年

次々と花を咲かせ

ます。

から晩秋11月まで

高は0.3～3m、耐寒性で、花色は白、青紫があり、特徴は半つる性常緑性低木で育てやすく、初夏5月

前に植えて、毎年

次々と花を咲かせ

ます。

から晩秋11月まで

高は0.3～3m、耐寒性で、花色は白、青紫があり、特徴は半つる性常緑性低木で育てやすく、初夏5月

久が原の自然シリーズ ⑳ ルリマツリ (瑠璃茉莉)



夏を飾ってくれています。でも、ちよつと迷惑なのが花ガラが粘って服や手につくのです。また、黄金虫が枝に多くつき、葉や花を好んで食べているようです。ピンセットで取るなどしないと木が弱るようです。粘り気のあるガクを持つているのは、虫などについて種を運ばせるためだそうです。花木も考えて生きてますね、なかなかの強者です。

(大竹 恵美子)

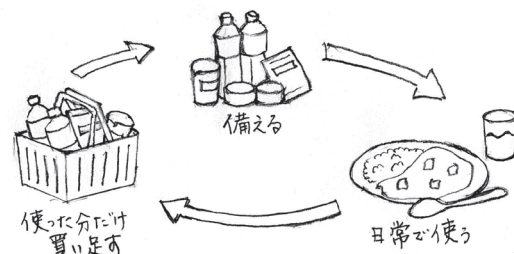
「元気が出る災害食」

「元気が出る災害食」とは、普段の食べ慣れた味のものや好物です。ストレスを和らげ免疫力を上げ、生きる気力がわく効果があるそうです。親子で学ぶ災害時の「食」講座が3月に久が原会館で開かれ、災害時に元気が出る食についてとポリ袋調理を学びました。

災害時に、自宅に倒壊・浸水・火災の危険がない場合、慣れ親しんだ環境で生活を維持し、避難所の混雑緩和や感染症・ストレスリスクを軽減できる在宅避難を推奨しています。最低でも3日分、できれば1週間～2週間分の水や食料などを家庭に備蓄しておきましょう。

- ・冷蔵庫は最大の備蓄庫です。冷蔵・冷凍品の活用
- ・常備保存食と長期保存食、乾物などは日頃から調理して、冷蔵・冷凍しておく。いつもの食材を少し多めに備える。おやつや果物などの好物も備える。
- ・各自必要な生活必需品、薬など備える。
- ・カセットコンロとボンベ(1日分で1～2本)

◆ローリングストック(循環備蓄)のすすめ! 必要なものを食べながら無駄なく備蓄する。



■ポリ袋調理

(熱に強い高密度ポリエチレン製を使う)

- ご飯
・無洗米 1カップ ・水 200cc
 - ツナとトマトのカレー
・ツナ缶 1缶 ・トマトペースト 大さじ1
・玉ねぎ(薄切り) 1/4個
・ミックスベジタブル 50g
・カレールー ひとかけ ・水100cc
- ① 材料をポリ袋に入れ、空気を抜き、上のほうでしぼる。
 - ② 沸騰した湯で約20分 湯煎する。
 - ③ ご飯は火を止めて10分蒸す。カレーは取り出したらタオルなどで包み、よく混ぜる。